



様式第4号（第6条関係）

令和3年7月12日

富士見市議会議長 齊藤 隆浩 様

会 派 名 草 の 根
代 表 勝 山 祥

行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

記

- 1 期 間 令和3年7月7日～ 令和3年7月7日（0泊1日）
- 2 参加者名 村元 寛
- 3 場 所（行政視察地・研修場所） オンライン参加（自宅）
- 4 調査・研修概要
「改革から変革へ デジタルで議会が変革する」をテーマに、「だれひとり取り残さないーデジタル庁の変革ビジョンー」平井 卓也（デジタル改革担当大臣）の講演など。

5 感想及びまとめ

民間企業からはNTTデータの方、地方議会からは大阪府議会、取手市議会、横浜市議会、会津若松市議会、可児市議会の各議員、そして公益財団の方、更に平井大臣の各講演やセッションで議会のデジタル化、オンライン化の現状や今後を学ぶことができた。普段は市内での滞在時間が長くなり、議会という限られた空間と人との関わりの中で公務を行う事が多くなりがちだが、今回は他の自治体の議会におけるオンライン化への取組やそれがスタンダードになりつつある事を実感出来て大変意義のある研修となった。

印象に残ったのは平井大臣の講演の中で「デジタル化はあくまで市民の皆さんが

メリットを感じられるようにツールを使いこなせるようにしていく事だ。またデジタルだけでは完結しない。スマートフォンを持たない人にもメリットを享受してもらうためには最後は人の力が必要だ」という事と「その為に国も地方も現状を否定する事から始めなくてはならない」という現役の大臣からの力強い言葉だった。

また、コロナ禍において、他の自治体の議会では総務省の通知を受け委員会をオンラインで実施していた。各自治体の議会での取組や社会の流れの中で、オンライン化への流れは民間だけでなく行政や議会でも加速していくであろう事を学んだ。

それに伴い、本会議でもオンライン化を求める声が増えている。との事だが「法改正が実現すれば、妊娠、出産、介護を抱えている方も議員としての使命を全うできる機会が増え、議会の多様性推進により市民サービスの向上が期待出来る」という趣旨の発言に共感した。私自身、障がい者の当事者として様々な障がいを持つ方が活躍出来る環境が整う事に希望を持ち、また、更なる市民サービス向上の為に今回のサミット参加を富士見市議会においてのデジタル化、オンライン化の推進の参考にしていくように活動をしていく。

*行政視察に関する調査書、概要、参考資料等は、会派にて保管